

県内企業による新技術・新製品への販路開拓支援を開始します

～令和2年度「エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金」交付決定～

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、福井県が推進する嶺南Eコースト計画(「多様な地域産業の育成」と「デコミッションングビジネス※の育成」)の一環として、「エネルギー研究成果等販路開拓支援事業(補助金)」を実施しています。

※ 原子炉の廃止措置(decommissioning)に際して、除染、解体、廃棄物処理など関連業務の受注を目指すビジネス

この事業は、県内の企業が電力事業者または(公財)若狭湾エネルギー研究センターとの共同研究等により開発した、原子力・エネルギー分野、地域産業活性化分野、環境分野、植物工場・施設園芸分野、防災分野に関連する製品・技術の販路開拓を支援するものです。

本年度は、4件(販路開拓枠)の応募があり、審査の結果、下記の4件について補助金の交付を決定しましたのでお知らせします。

記

【販路開拓枠】

事業者名[所在地] (下線:嶺南企業)	テーマ	概要
<u>株木田屋商店</u> [小浜市]	新育苗設備で開発した植物工場野菜の販路拡大	LED波長の調整による栽培日数の短縮や歩留向上の技術を使い、フリルレタスや赤色レタスの販路を拡大するほか、外食ビジネス展示会などで自社ブランドをPRする。
<u>若越印刷株</u> [敦賀市]	「越前和紙十五夜」ブランドの販路開拓	越前和紙で制作した「キューブメモ」の拡販を図るため、ネットモールを開設し、他の商品と差別化した「和紙デザインのパッケージ」として20～50代の女性に商品をPRする。
セーレン株 [福井市]	耐水性防護服の販路開拓および感染症防護服への横展開	軽量化・通気性の向上に加え、簡易な着脱など改良した耐水性防護服を各原子力発電所へ売り込む。また、素材や技術を活用し、感染症対策用防護服の製品化に向け仕様を検討する。
<u>株トライボシステム</u> [敦賀市]	発電所向け浄油装置の販路開拓	火力発電所向け「タービン軸受潤滑油浄化装置」や「作動油浄化装置」をPRするため、パンフレットのリニューアルや動画を制作し、潜在ユーザーの掘り起こしを図る。

(掲載は代表企業五十音順)

(参考) 令和2年度「エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金」の概要

補助事業者	補助対象事業	補助率 補助限度額	募集期間
①「新産業創出シーズ発掘事業」により製品等を開発した企業 ②「嶺南地域新産業創出モデル事業」により製品等を開発した企業 ③電力事業者や若狭湾エネルギー研究センターとの共同研究にて製品等を開発した企業 ④県が開催した「廃炉業務評価委員会」(H29～30)において、廃炉業務で活用可能と評価された製品等を開発した企業	原子力・エネルギー分野、地域産業活性化分野、環境分野、植物工場・施設園芸分野、防災分野 ※上記分野の事業に係る展示会出展などの販路開拓、新商品の広報宣伝活動	補助対象経費の1/2 200万円/年	令和2年4月8日～ 令和2年5月13日

【お問い合わせ先】

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部 山本、安井
TEL: 0770-24-7276 (直通)

【補足資料】

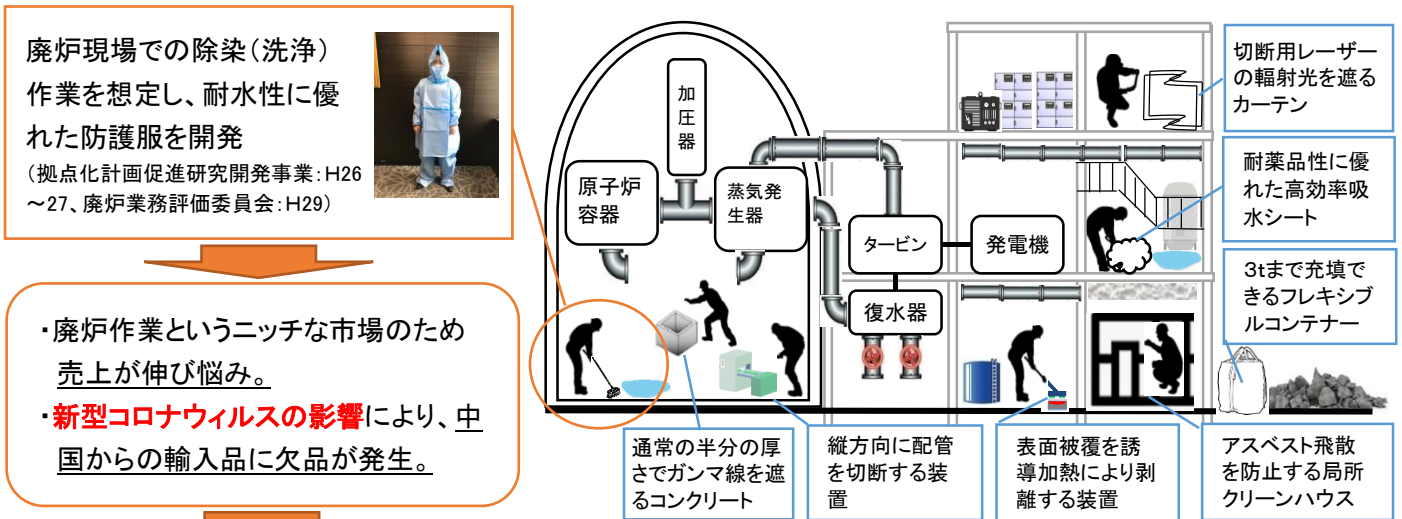
エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金について

これまで（公財）若狭湾エネルギー研究センターは、各種補助金^{※1}や電力事業者との共同研究、廃止措置工事に係る新技術・新製品を支援してきましたが、研究・開発後は、売上に繋がっていないものもあり、産業の創出・育成の課題となっていました。

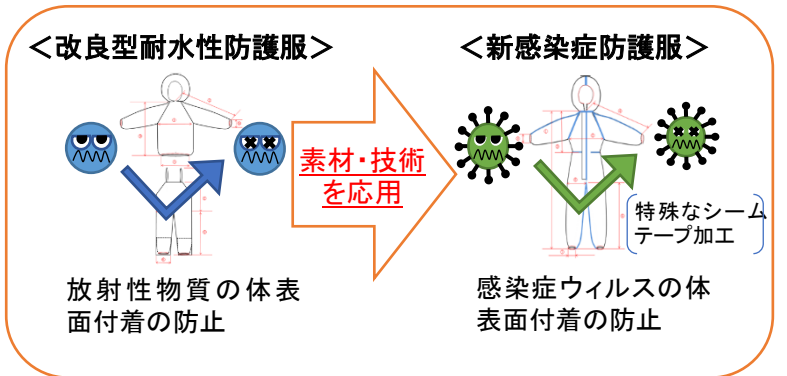
※1 新産業創出シーズ発掘事業補助金、嶺南地域新産業創出モデル事業補助金、拠点化計画促進研究開発事業補助金（～H27年）

今後、研究開発支援に加え、販路開拓も支援することで、企業の収益性を確保し、産業の創出・育成の実効性を高めていきます。

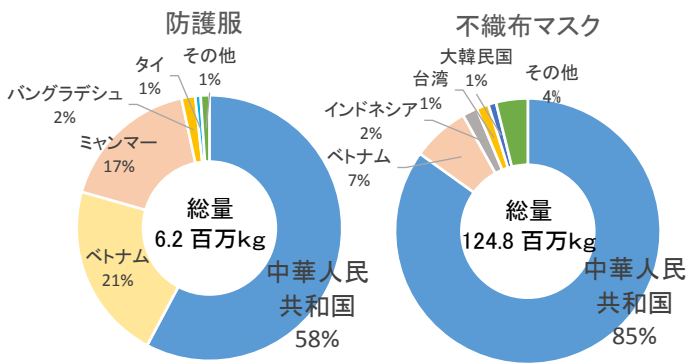
（補助金の活用例：セーレン株）



- ①過度な中国への輸入依存^{※2}から脱却し、可能な限り国内で生産する。
- ②「風合いが硬く重たい」から「軽量かつ柔軟性がある」防護服へ改良する。
- ③防護服の技術を応用し、ウイルス感染症防護服の事業化を図る。



＜※2 品目別日本の輸入量（比率）＞



- ・より軽量、より柔軟性が高く、生理的な負担が少ない耐水性防護服を開発し、電力事業者への販売を強化する。
- ・防護服の国産化による安定供給を実現し、感染症防護服市場に参入することで、医療機関へ販路を拡大する。